



東野にある塵芥焼却場



杉森 賢二 議員

Q 健康長寿のまちを目指して

A 楽しみながら健康寿命の延伸に取り組む

具体的な取り組みは

問 生活習慣病対策は、健康増進課長 町内企業

からの依頼による健康関連の講座を実施している。今後も、保健師や栄養士が事業所に出向き、健康教育などを行っていく。また、企業や事業所と連

携し、いずれは国民健康保険の被保険者となる可能性の高い働き盛り世代の健康増進をはかっていく。

の実施を予定している。28年度の受診者数や実施状況を踏まえ、次年度以降実施回数を検討したい。

況などを参考に、今後検討していく。

問 インフルエンザ予防接種の助成を。

問 ウェルビアでの特定健診の状況と今後の取り組みは。

問 ヘリコバクター・ピロリ菌検査・治療への助成を。

費用の助成を行っている自治体もある。町として、どのような支援策が実施できるか検討していく。

Q 町が取り組む地球温暖化環境対策は

A 企業と連携し進めていく

環境対策の取り組みは

問 町行政、町内企業の二酸化炭素(CO₂)排出状況と今後の取り組みは。

くらし環境課長 行政活動により排出されるCO₂を30年度に24年度レベルから5%削減を目指し、CO₂の排出量を4千85tから

3千882tとしている。直近の26年度のCO₂の排出量は3千938tで、基準年度24年度の4千85tと比べると3・6%削減

することができた。町内の企業は、生産活動と併せて、CO₂の排出抑制に努力している。今後も企業と連携を行いながら進めていく。

問 これから広域連携を行うことが重要な決断だと思うが、エネルギー活用が可能な焼却場の広域連携共同整備の考えは。

都市環境部長 将来的に視野に入れることも考えられるが、環境省の通知によると、広域化の規模は、市町村ブロック化の地理的条件、社会的条件

を設定し、エネルギー回収の効率化、処理の安定化、処理費の縮減に配慮した焼却施設は、1日当たりのごみ量300t程度以上の規模とするのが望ましいとされている。現在は施設の延命化をほ

かり、継続使用したい。